

去る11月13日 早稲田大学アメリカ民俗学研究会
会報「ユニグラス」編集委員は スリミング誌編集と、
お茶会ネットワークを東京を中心にその伝説とどう
かしているフルーグラスバンド「フルーグラス伝説
から今」の編者長を取材すべく、埼玉県戸田市
に足を運ぶことになりました。ここにお送りするのは
その報告とインタビューの様相です。

PART.1 自己紹介

① 年齢

③ 出身

⑤ 尊敬するプレイヤー

② 楽器

④ 趣味

⑥ 愛聴盤

⑦ すきなもの

なかじき 工務 本

中島 健雄

① 26才

② マンドリン・BlueBellのF-15

日本で2台目につくったものを塗装を
自分で(おかげで)黒にぬりかえたのが
つからえています。

③ 丹沢の山奥

④ 音楽としか (つ)のようがありません。

⑤ ステファン・グラッパリ

デヴィッド・クリスマン

⑥ ステファン・グラッパリのジャズフェスのライブ

⑦ あんかな？ (笑) ごまかしとけて下さい。



さいとうこうへい
斉藤孝平

- ① 26才
- ② マー4ND-35, 持ち込みギター
- ③ 東京
- ④ 音楽はもちろん、あとはラグビーとバスケットボール。読書も好き。
- ⑤ スターリン・グループ、グリスマン・ギタリストは皆、よく聞いてい。
- ⑥ グリスマン・クワインテット
LSNYのLP
- ⑦ ヒールと、うなぎと女性をみること。

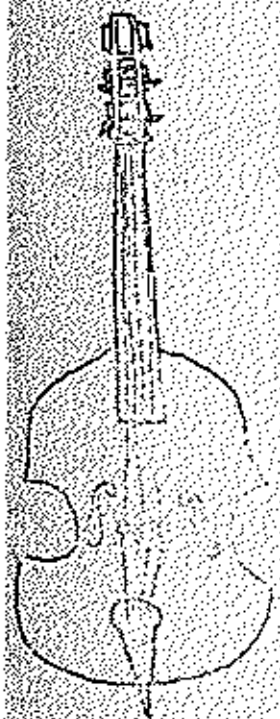


うらめしやあき
浦上泉明

- ① 23才
- ② バンジョー、スターリングの2nd-ワグ
- ③ 東京
- ④ 口笛を吹くこと。
- ⑤ Banjo アレキサーには()ない。
(これはあとで高正、ビッグ・ショ・ダンとジャック・ヒルズ
だそうぞすの)
グリスマンとグループかほ? やっぱり。
- ⑥ Xニュー・マンとグループの競演してるアルバム
- ⑦ 田舎に行くこと。



こがむら
小篁浩



② バース スズキの15号もの。4万です。
(このバースは100万で売ってこれといわれてことば
たという(ゆくづきのもの)です。)

① 23才

③ 東京

④ 不夜城現現, 写真, ハロ-ハロ-クラスト, キバシー

⑤ レイ・グラウン, ロンカーター, トッド・スリッパズ

⑥ グラマン, クウインテット

ロンカー, ヒューターソンとレイ・グラウンの競演盤

⑦ 趣味と同じ(笑)おかしかなあ

~~~~~

のむらむら  
野村英夫

① 24才

② バイオリン, アッシュ・ストラッツィというフランス  
製。6万の値がある。

③ 戸田市

④ 音楽以外では美人をみる

⑤ ステファン・グラッパリ, ジャン・ルウポントイ  
リチャード・グリーン, ケニー・バイカー  
×ニューマン

⑥ バイオリン・セッション など

⑦ 英語かな?



## PART.2 インタビュー

○インタビュー(は マラン=マンテ)おそろしから始まった。

自己紹介のあと、ジズ/ガラスのレコードをききながら、練習の準備がはじまりました。

浦上さん(以下Uと略) 『なんだ、このマラン=マンテは、バカみたいだね。こんなことやらなきゃ(い)んだ。(このレコードには)バンジョー(は)いてなきゃ(い)のになあ。世の中で(いちばん)つまらん楽器だ。(笑) それにしても、AT(は)くそだねあ。』

小倉さん(以下Kと略) 『よたってますよね。』

U 『4テ4テ4テ、うるさくて(は)うが(は)い(は)い。』

K 『よたってますよねえ、(き)こえてますね、本当にどう(は)うも(は)い(は)い(は)い。』

全員 『やっつけられないよ。』

K 『所詮、これまで(は)い(は)い、マラン=マンテ(は)んて。』

さて以上のように、なにやら恐ろしい発言をきいて、多少の不安をいだきつつ、記者はインタビューをつづけました。

### ○ 鉄かぶとの歴史

— 今のバンドを組むようになった(き)さつをお話して(いた)だきた(い)ので(は)い(は)い —

~~中島~~ 中島さん(以下Naと略) 『僕と青平が(有藤

さんのこと) 理科大のバイク、カウンティ、ランブラーズで(いつか)にやっていた。卒業してからも、意気込んで、最初は2人で、軽井沢のフェスなんか出て、そのうちに Banjo とか Bass とか、他の連中がとびこんできた。

— 小籾さんが入ったのはいつですか? —

U<sup>1</sup> 彼の場合は突然だね。僕が早稲田祭に遊びに行っていた時に知りあって、その頃、前にベースやってた矢口とんで人が急がしいこともあったしね。そのかわりにうま(う)女が(い)るから、(い)れ(い)ら(い)って(い)ら(い)うわけが入ったわけです。

K<sup>1</sup> もう1年半ぐらいはなりますね。

— 野村さんが入ったのは? —

野村さん(以下 No. と略)

『今年の1月5日に(いつか)にステージを踏んだのが、正式に録音かぶとのメンバーとして出た最初ですね。』

— どういう関係で? —

有藤さん(以下 S と略)

『浦上が友達になってきたんだよね。』

U<sup>1</sup> ええ、彼らのバンドが練習やるところに遊びに行くと、(いつか)うま(う)女が(い)たんで、(いつか)にやろうということになつてね、それで、そのうち彼がアメリカ行った時に、ステファン グラッパ(り)って(いつか)の聞いて、彼に手紙かいたわけ。これを かって聞けてね。帰ってきた時には、もうコピーして、そのフレージングを身につけて待ってたんですよ。

No. 1 『今年の1月のウツェボシム以来、現在のメンバーになって、今日に至ってるわけですよ。』

## ○最初はやっはりギターでした。

— では次に、楽器をはじめた頃のお話を —

Na. 1 『小学校の時、叔いじかはやってて、ウクレレを貰ってもらったのが、絃楽器の(いちばん)最初だよ。』

S. 1 『古い話が出ましたね。』

Na. 2 『中学に入って、エシキか(はや)りだしたんで、ガットギターにして、ネックをとって、ボディを自分でつけて、マイクもその方に絡まわって、エシキギターを作りました。その頃、お父さんがいて、お父さんのアンプがなかったので、お父さんに買ってもらった(お父さんが買ってくれました)。』

『高校の時は、お父さんがダメで、自分で買ったんで、そのアンプが(大学)入って、(大学)入った。アンプソングクラブに入りました。ブルークラスに入って知らなかったのに、体育会みたい(お父さん)で、マンドリンを強制的にやらされたのが、やみつきになって、あとはもう泥ま...。という感じですよ。』

U. 1 『僕の場合はPPV(プロフェッショナル)でした。そのうち、見学のついでに買ったんですけど、お父さんが買ってくれてる方になるようになって、中学の時にバンドを作って、お父さんがお父さんのステージに立ったのが、(お父さん)です。でも、やっぱり本当の最初はギターだったでしょうからね。絃楽器の(いちばん)最初。』

P. 1 『高校の時は、(お父さん)やってて、(お父さん)なくて、大学入ってからですね。熱心に始めたのは。』

S ♪ 『今じゃ？』

U ♪ 『今じゃあまで、Banjoに興味をかんじてない。』 (笑)

No ♪ 『買ったバンジョーもまだ。』

— 小島さんは？ —

K ♪ 『高校生の時に、クラシックギターをやったんだけど、指に（いもがかり）をかんじてやめました。高校の時はP.M.のバンドのパートをやったけど、なまじり疲れてやめました。大学に入ってBassをはじめ、モダンジャズをやろうとしたけど、ついていけなくて、うが前どやめました。(笑) なんか、ブルーグラスに自然の地をみつけ、以来、ずっとベースをひいてます。』

U ♪ 『体にあってる。』

K ♪ 『へへへへ。』 (小島さんは埼玉の前白馬の現名をもて(笑)のどき。)

— 新橋さんおれがりし。 —

S ♪ 『ほい。僕が最初に興味をもったのは、高1の時にギターをやったのがきっかけです。』 P.M.・シーガーや、大塚ではキングストン・トリスとかやって、ブルーグラスも少しやって、その後いろいろあったあと、ブルーグラスにまっついてるわけですよ。高校ではロックンロールがすきでやります。ジョニー・ビー・グッドがすき。』

— 野村さんは？ —

♪ 『高校の時ギターをはじめ、2年の頃Banjoをはじめ、大学の2年の頃までBanjoやりました。今、ニューマンタのBanjoの森くんにおしえたのは僕だったんだ』

けど、彼の方が「あまめき」まくなってしまったので、僕は「やめざるをえなく」なってしまった。それで彼と（つまり）バンド組むには、他の楽器をやめたくもほらない。かといって、ベースは大きすぎるし、ギターは「歌」も持たない（？）ので、昔から「興味」を「か」んじてたバイオリンをはじめることになりました。約2年くらい前のことでしたか。現在は、バイオリンのみで、あとの楽器は「さ」わりも「し」ません。」

### ○グリスマンには「聞えちゃうな」

— 現在の活動状況及び、これからの方向についてうかがいたいのですが —

Na<sup>Q</sup> 活動状況は、月に1、2回の練習、ステージは月始めのイベントに新宿ウッショボン、月の終わりのイベントには、吉祥寺のウッショボンにでてます。これからは、曲数は少なくて、1曲1曲を、じっくり「磨」って「い」くつもり。」

S<sup>Q</sup> 「はいはい、曲数が「増え」たら「いい」ですね。」

No<sup>Q</sup> うん、まあ、これから方向としては、徐々に「ジャズ」っぽくなっていくことは「否」めないね。でも「本物の」ジャズをそのまま「コ」ピー「タ」ンてことは「し」ません。」

No<sup>Q</sup> は楽器の特性を生かしたほうがいい。」

Na<sup>Q</sup> 最終的にはアンサンブルの追求かな。これから「今」まではアレンジが「多」かったんだけど、これからは、少しづつ、オリジナルを「作」って「い」こう「た」んて「考」えてる。」



O ブルーグラスしか聞かない人はだめだよ

— 関東ではクリスマスみたいなのがうけてますが —

Na 『アンサンブルがすごいからね』

— 関西では、ジャズっぽいのは否定されてるそうなんですけど、そのあたりのお話しを —

Na 『頭がかたいんじゃないの。人にかたまってるからね。まじの楽中は小さく内輪で固ってたのしんでるって感じだよ。そういうのは好かんね。』

『やっぱりいいものはいいんだから、広い目で音楽をみて谷ねしいよ。』

S 『中島さん、そんなに怒らないうで……』

Na 『うん、彼らは昔のブルーグラスを通してものを見てるから、ちがってでも人なことをやると、あはは——って感じになるんじゃないの。』

U 『(彼らのいうことは)全然気にするないうです。ブルーグラスしかやったことのない人間には、ブルーグラスは、語れないうだよ。他の音楽を中ひろくきいてこそ、ほじめてわかるものぢやう。』

Na 『僕らとしては、色々な音楽をとり入れたいわけよ。ブルーグラス楽器でできる可能性、ていうのが、聞かぬている時代だと思っしね。』

No 『ブルーグラスでジャズやったからどうのこうの、勝手に

○○○○○○○○○○ 関西 VS. 関東 ○○○○

のち人には、本当にブルーグラスが売れているのか、心配してしまいませんか。本当にブルーグラスの将来を真剣に考えている人は、やっぱりブルーグラス楽器の可能性みたいなものを考えてるんじゃないかな。』

K『例えば、ベースなんて、ブルーグラスやってたって発展しない。2ビートしかないからね。』

U『ブン、キャン、ブン、キャンたものな。』

K『やっぱりジャズ勉強するしかないでしょう。とにかくいろんな音楽をかたまり人はダメよ。』

S『そう、ブルーグラスきちがになってくれている人は、たいていにおいて、ちょっと頭がかたまって、あかしくない。ブルーグラスしか聞かなくなっているのは本当のバカですね。(大笑) …… ラジカルだね。今のことはできるといってやめろかといっています。』

『ロックがうけるのも、クラシックが生きのこっているのも、それぞれに理由があるんだよね。』『そういうのをきこうとしない人ばかりいふと、ブルーグラスは死滅するよ。』

U『ある楽器を中心にね。』(笑)

○ アラン = マンデなんてハイステイ、ローラーズみたいなもの

U『卒直な話なし、カントリー・ガゼットは日本で売れただけうけたけど、その前の「オールド・タイム・ヒル・キング」ハロルドじゃ、客がたったの12人。ダン・クレアリーなんて、たしか

ひとけただよ。とれくらいのものなんだ。あっちの人は冷静にみてるんだよ。日本にくれば、なんでも見に行っちゃうなんてのが多いよ。

J.D.クロウがとれは、J.D.クロウはらかりだし、ビルキスがかとれは、日本のBanjoピキはみんなビルキスになっちゃうしね。むと極端な例がアラン=マンディで、アラン=マンディひかないと、キャンデイス"応機しなきゃおもしろみたりなの(あるて)よ。アラン=マンディなんて、ヘイロー、ローラス"みたりなものだよ(笑)』

### ○最近の大学生はうまいよ

— 最後に大学生にひとことお褒めしよ。 —

3『うまい!』

No『×うう』

Na『石塚がうまくなってきたみたいだね。昔にくらべると。』

U『うまいよ』

Na『うまくなってきたことは石塚だけと、まだある4-ド"がでやえは、もう×の曲は追求しないバンドがクワいみたいね。もう少しなぶせば(1)のになあっていうバンドがクワ々あるよ。』

No『でもよく練習しますよ。』

U『本当に、Banjoで、池田くんとか、村井くんとか、あとウッドカマース"の人なんかね、見たたびに変わってるし、きちんと指はうごくし、本当に何れいえん。』

S『ギターの人はなんか最近、特にうまいよね。……困った問題だよ。』(笑)

K『ベースにはあまりうまい人がないみたい。(後)……言っちゃった。(笑)』

S『今のセリフ、カッコいい。』

以上のように、インタビューは楽しいうちに終わることかどうかわからないけど、このお話をきくと、何か新しい兵器を仕入れたことか、シビアな練習に入りました。秘製兵器は、今月末のウツシュホシステージで公に使用されるかも知れません。おたのみに。

インタビューが終わったあとも、そのふんいきが残っていた。U『ビル、モシ、ローが死ぬのは、ブルーグラスは変わるかもしれない。(笑)』などというふうな発言が、つぎつぎととびだしてまいりました。長いあいだ、どうもありがとうございました。

★以上の記事はインタビューをもとに、編集部  
の責任においてまとめたものです。★

K『あ、とまた？ 聞いたんだよ。(さ)うまいのが、  
早稲田の和泉ってベースひきはうまいよ。前言ど  
りけしませ。(笑)』

# SHANE BAND

— 東京藝術大学・SAN JUAN MT. BOYS —

ギター：石川信一

BLUEGRASSを知って2年目。あのマーチンギターにマーチンのHeavyを買って音が熱い音のというのが最近のこと。でもこの人、信一も最近のバンド会社の社長。今には自信があるという。

マンドリン：小原正樹

この人、果は音楽が好きで、山をひとつ隔てた、即ち山奥の山奥の山奥の山奥。何とギター、バンジョー、マンドリン、はたして木を入れたばかりのステールギターに弾いているという。何々の想で、何々の景名を、とていっている。

ベース：吉田正樹

（ベースを弾くと、このつのは分るまじい）。ステージで、あのあの、平気でしゃべるのです。BLUEGRASSだけでなく、ロックのバンドのエッセンスまでというわけなのです。

バンジョー：石川信一

何と、バンマスをやっているのかねえ。バンマスとは、つらくてむづかしいものだからね。これは、ただ、ホタのお見せが、SAN JUANの倉庫でどうにかけたかと思ふので、今は、KOMIYAMA BANDで弾いている。



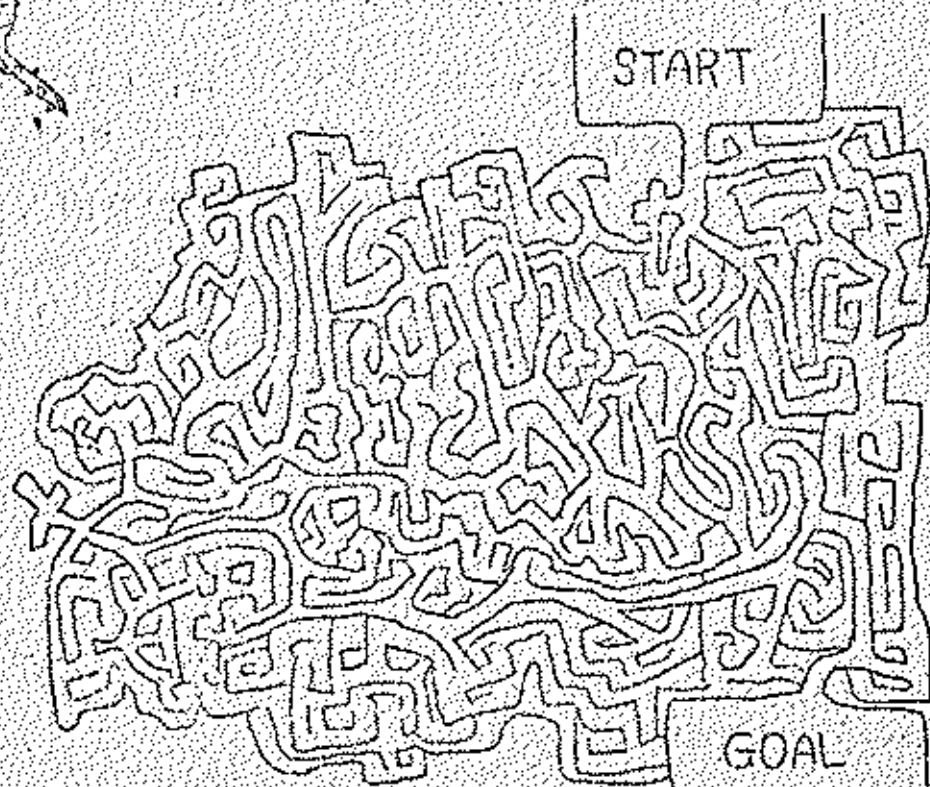


玉川直子：西文科1年  
氣、心、力で人の心をつつき、つるまわりたい。

広瀬順子：西文科1年 バンジョー  
将来、渡辺直子につく「酒豪」になる可能性あり。

本吉奈々：西文科1年 キター、ボーカル  
クールにクラブに接する、えたいの奴ロルたい人。

和田豊土子：国文科1年、ベース  
ウッドベースをもって、シェフ・バックとの共演を  
夢みている。



# SELF-BANDS OF JAZZ 3

— 東京農業大学 アメリカ民族音楽研究会 —

## ○ 4エリー・ヒル・ラングラス

Guitar & Vocal : 牛込均 3年。狂暴性のある女真像中。  
エースアタッカー、背番号6

Bango & T. Vocal : 村田光弘 3年。Ivoryか似合う女真像中。  
サブアタッカー、背番号8

Bass & V. Vocal : 坂元京二 3年。オースティンに似た女真像中。  
ヒンドゥーサバー、背番号なし

Mandolin : 原信太郎 4年。自伝七作と、ニワトリを、  
しりぞける女真像中。  
ヒンドゥーサバー、背番号19。  
☆  
これはどういう意味なの  
でしょうか？

## ○ 練習について一言

一応、週三日。月、水、金と教場を借りて行っています。  
現在、会員40名（女子は10名くらい）存ぞいたの人数です。

## ○ 農大について一言

何しろ広い大学で、牛も豚もニワトリも 一体となって生活し  
ています。飼育所に馬場がまわっていますか。

## ○ ユニグラスについて一言

皆、はすかしかりやで、仲々、外に出たがりません。ですから  
気軽に遊びに来て下さいませ。

## ○ バンドについて一言

今、サークルにギター70は 12-13あり、メンバーを大募  
集しています。アイドルとトブ口が、いませんので……。

語も涙のものがたり.....

■

# 横溝正史 詞 BLUE GRASS 悲哀物語

~~~~~ 作者 匿名希望 ~~~~~

あの思い出すのも恐しい。とてつもなくひどましい事件が起こったのは、小雨がパラつく曇天のお盆の日秋の1日のことでした。私はその夜、久しぶりで少しばかり酒をのんだあと、9時巻の横須賀線に乗りこんだのでした。車内は混むでもなく、空くでもなく、黙ごとに人々を乗せたり降ろしたりあいつも変わりらず、かたごとと走りつづけていたのでござります。横須賀駅で3人の外人がのりこんできて、私のまわりをかこまよううに席をこめました。当時は、横須賀港に、煙囪がうつくたがに、夜も夜も水兵たちは、つかの間の憩いの場を求めて、横須賀の町のみならず、不夜城、遠くは川崎まで見立のぼすため、9時、10時以降、その限りおちのなれのグループを目にすることも、稀では、たからたのでござります。私はその時、あみ相の上か、旅行かえりの若着の荷物で(うっほい)であったために、手にしていたバンジューをひざの上にのせていたのでした。これがこの直後に起こった事件の発端になろうとは、考えもあまばなかつたので、ござります。あながち私ばかりの落度とは、言えませうまい。しかし私(は、若着の荷物をおろしても、バンジューを、目につか、た(あみ相)のすみにのせておとすべきでした。これが、あとで悔やんでも悔やみきれないこととなった1巻の原困だらうたので、ござりますから。しほし、このバンジューに目をとめていた外人のひとりが、急にこう話しかけてくるではありませんか。

“Do you play the banjo?”

私は、その英語が理解できただけでも、周囲の人達に対して何故か誇らしく思えてはらす、ついで

“イエス”

と答えてしまったのですが、私の会話力では、それにうづける文句が浮かんでこず、奇妙な沈黙がやってしまったのでございます。その沈黙に耐えきれなかった私の心積をあせつ下さ(い)。その照れかたしのために、沈黙中必死に考えたひとことをつけくねってしまったのでございます。

“イエス、アイ フレイ イット アズ イフ アイ ワー アラン マンテ”

as if だぜいのような大層入試英語が、生きて外人に通じぬわけがないと思つたのと、Alan Munde なんて知らないだろうと思つたのが私の舌のまわりがい(い)でござりました。その時ほど通じぬわけがない、(い)や通じなくて(い)の、周囲の人に、私がスラスラと受けこたえするのを見せつけてやりたかつたのでござります。その時には、3人の外人とあめりか存男のやりとりには女子客の目があつまつて(い)たから存のでござります。通じてしまったのと、赤はスクラッグス敬詞を存どや(い)てる私が、アズ イフ アイ ワー アラン マンテ” 行ど(い)と(い)したのが(い)なり、果地は(い)らう(い)れ(い)してしまつたのでござります。



↑
つて

SELF-INTRODUCTION ^{フウフウフウ きいてください。}

— 日本大学 農獣医学部 —

日本大学 農獣医学部とは、数ある日大の中で、いつか聞いた
けられてくる学部で、その中にあるアメリカ民謡研究会は、数
あるサークルの中で、最もさげすまされているサークルなのであ
ります。部員達は 金に困り、学校へは行かず、日稼アルバイト
に精を出しているのです。でもひそかに、日本一のバンドに
なることを夢みてがんばっています。では 数少ない部員を
紹介しましょう。

○4年 (初代 バージニア・バーンズ)

- 船山 健一 (Bj. G) 知る人と知る、バージニアの名手。
- 川田 隆夫 (Bs) 指はガムテ-70をまいてひく。
- 松村 好昭 (G) クラブまての長老。
- 有沢 孝二 (G) 小さな体に力があるねます。



○3年 (2代目 バージニア・バーンズ)

- 船山 純良 (Bj.) 知る人と知る借金の名手
現会長

○2年

- 中川 真澄 (M.) 知る人と知る、コーラスの鬼。
- 武田 正和 (G) 知る人と知る、会計の鬼。

小池 正明 (Do, G, B.J.) ラグタイムの名手、ハンジューで
参加

○1年 (バージニア、バーンス、ジュニア)

佐藤 良浩 (B.J.) ここをフォークソングクラブとまちがえ、
たまさか入ったあかん人。

山口 工カ (M.) 通称、カン平。

二村 佳世子 (G) 紅一点 (??) こねておな?

たが、4年生は引退して(る)ので、活動力は、7名で行な、せい
ます。1年生は藤沢のすびす、ま曜目。2、3年生は、五軒茶
屋が、史倉と練習して(る)等々、どうぞ見に来て下さい。

〇〜〇〜〇〜 ブルーグラス小唄〜〇〜〇〜〇〜

〇 バーバーブルーグラスのはなし 〇

〇 埼玉縣は 東大宮というところに、ブルーグラスという床屋 〇

〇 がどきたって(る)ので、友だちと2人で(い)ってみたんです 〇

〇 がね、(い)やはやおどろきました。何しろ、クリスマンとか、 〇

〇 サム、ブッシュの写真が(は)ってあって、(と)のどまりにセット 〇

〇 してくれるのですから。とこで一言『クリスマン、カット』 〇

〇 私のかみの毛はクリスマンのふうなゴシヤゴシヤヘアと 〇

〇 なることになりました。ところが、友だちは、ブルーグラス 〇

〇 といったら、全然しりなくて、(い)やはやおどろかせるビル・キース 〇

〇 の写真をみて、つい『ビル・キースカット』と(い)ってしまった 〇

〇 のです。と(い)やばをきくや(い)や、床屋のおやじは、友だちの 〇

〇 前かみを(い)やばと(い)ったのです。(い)やばや、これ(い)やばも、 〇

〇 ビル・キースの(い)やばか(い)やばのせい(い)やばのでした。 〇

〇 (い)やばまっ。 〇

〇 〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜〇〜



——早稲田大学、アメリカ民謡研究会——

現在、私たち早稲田大学アメリカ民謡研究会には、ブルーグラスバンドは一つしかありません。活動の方も、クラブでまとまってやるのは、大きな行事の時が多く、その他、ふだんの練習は、完全に各バンドにまかされた、バンド独立の形態をとっています。そのためか、排他的要素が、ぬぐいきれず、バンドにはいってない人間は、だいたい疎外されてしまうことも多々あるようです。このような内幕を暴露してしまうのも、ユニグラスの形成単位となっている各大学のサークルの充実に、ユニグラスの発展に際するものと見え、各大学にきつとあるにちがいない。いろいろは問題を話しあってみることが大事だと考えた（こらした）からです。では、3つのバンドの紹介にうつります。

○ Sunny Bluegrass Boys

当大学のメインバンド、今までにはブルーグラスばかりだったが、これからは、フォークから、アコースティック民謡までやってみようとしている。半日後には、どんなサウンドになっているでしょうか。なお表紙の絵はこのバンドのベースの人がかいたものです。こんなにうまく、どんな人がかいたのか、こんどのフェスの時かほんかに、いちど顔をみて下さい。

○ クリッポル クリーク

コーラスとハーモニーを追求しているテクニックとハートのバランスのとれたバンド。フルグラスをはじめ、母たらずの人が大部分ということを見ると、まさに驚異に価する。甘いマスクに女の子が蝶のようにむらがり、結婚式で演奏するほど非常にタタリのも、メンバーの人柄によるものでしょうか。

(フッフッフ、フッフッフ、こんなにかかると、耳が"か"しい
でしょ、クリックリさん。)^{ふう}

○ 祇園精舎のカーネルズ

コーラスはバカでか、勢とテクニックがくっついてるバンジョーひきや、ひとつのフレーズに固執するピアノひきや、自覚ある手道どるか、Aコシのような手で、弦ばかりかきかきと、^ニかわいいうる女の子がくっついて、総譜までどけておくマンドリンひきと何よりも、ベースをこぼすのが好きなベースひきで構成され、かかむらがり、結婚式なんてできないバンド。(フッフッフ、こんなふうにかかると、わかっている人にはわかっているのです。)



非売品